

臺灣總督府  
臨時情報部  
**報部**

十二月廿九號

昭和十四年十二月十一日發行  
昭和十四年十二月十一日發行



世界の動亂と日本人の使命

電力調整令は如何に動くか  
逓信部電気課  
七分搗米と混食勵行に就て  
國民精神總動員本部  
内外新聞論調  
前線便り・地方情報・旬間日誌

〔第八十一號〕



# 電力調整令は如何に動くか

逓信部 電気課

電力調整令は内地に於ては本年十月十六日、臺灣に於ては十月二十七日夫々施行されたのであります。本勅令は國家總動員目的遂行のため、電気部門に於ける生産、配給及び消費に關し必要な諸命令をなすものでありまして、總動員法第八條の規定に基いて制定せられたのであります。

申上る迄もなく今や我國は支那事變第三年を迎へ、東亞新秩序建設のため聖戰を遂行しつゝ一方に於ては生産部門の大擴充を敢行しつゝあるのでありまして、之が爲には限りある物資、勞力、資金を最も必要なる重點に向つて集中して、其の効果を擧げることが戰時經濟の道であり、國家の生きる道であります。此の爲

には重要物資は其の生産、配給、消費に互つて統制の徹底を圖らねばならぬのであります。

電氣が國家總動員の上にて甚だ重要な物資であることは申す迄もないことでありまして、吾國が遂行しつゝある生産力擴充四箇年計畫の十五品目中に取り入れてある次第であります。實に鐵、石炭等と共に生産力擴充計畫や物動計畫等の基礎となり、樞軸となつて居るものでありまして、此の電氣が今回電力調整令により漸く統制せらるゝに至つたのは、他の重要物資が既に嚴重なる統制を受けてゐるのに比すれば、寧ろ遅きに失したりとも云へるのであります。

内地に於きましては今年秋より電力機備に陥つて居

て、之が對策として電力調整令が急遽發動されたるが如くに申すものもありますが、内地に於ける電力機備は渴水と石炭不足とが偶々此の時期に發生したに過ぎないのでありまして、あの事態が起らなくとも電力調整令は總動員體制を強化する必要上發動せざるを得ぬ時期に到達致して居たのであります。即ち日本の遂行しつゝある戰爭と生産力擴充のために電氣の需要は非常な勢で増加して居るのでありますから、之に對應しまして發電所、送電線、變電所等を新たに作りまして電力の供給力の増加を計らねばならぬのであります。然し水力にしても、火力にしても發電所の建設、運轉には多量の鐵、銅、石炭を必要と致します。所が電力生産の爲にはかり充分に之等の重要資材を使用する譯には参りません。従つて尠大な電氣の需要増加に對し發電の増加は急速に追いついて行けない譯でありまして、其の埋合せには不急不要の用に供します電氣を極力節約しなければならぬ事になるのであります。

電氣の節約方法は如何にするかと申しますと、他の物資と同様に國民が自發的に其の消費を極力節約して行かねばなりません。同時に國が法律を以て消費規正を強行する必要が生ずるのであります。即ち此の必要を滿す爲に今回電力調整令の施行を見ることになつたのであります。

此の電力調整令は十六條よりなつて居るのであります。今其の概要を申し上げます。

第一に電力の供給又は消費規正に關する命令

第二に電力の非常擴充に關する命令

第三に需給調整に伴ふ利害の調整に關する規定

の三つを目的としてゐるのであります。重點は消費規正に法的根據を與へること、發電設備を有する自家用施設者に發電、送電、供給を強制し得ることです。

今迄に在ります電氣事業法關係法令は主として發送電部門に對する統制規定でありまして、消費部門に對

しては統制が及ばなかつたのであります。其れで今回本令により消費者に對し電氣消費の制限又は禁止をなし得ることになりまして統制の完璧を期し得ることになつたのであります。

所で電力の消費規正は甚だ面倒な事でありませう。何しろ電氣と云ふものは近代生活の總ての部門に深く行き互つて居り、且つ電氣に代るものが無い場合が多いのでありますから、消費制限は何人も甚だ苦痛とする所であり、特に工業家にとつては死活問題となる場合があるのであります。其れで消費規正に或る一定の標準を明らかにする必要があるのであります。此の供給の順位の大略の方針を申しますと、電氣の需要の順位を四種に分ちまして、第一、第二、第三、第四と云ふ風に重要性に輕重を附けて行くのであります。

#### 第一種需用とは

第一に陸海軍工廠、第二に政府の指定工場即ち國防上直接影響ある産業及國民生活上重大なる影響ある産

業を申します。

#### 第二種需用とは

第一に生産力擴充計畫産業、第二は公共事業—交通、通信事業の如きもの、第三に輸出産業、第四に上記事業に隨伴する事業にして政府の指定するもので、此の第一種及第二種需用に對しては飽く迄供給を確保せんとするのであります。餘裕があれば、

#### 第三種需用の

平和産業用、家庭用其他に振りむけるのであります。

#### 第四種需用と

申しますのは消費を禁止するものでありまして、第一に照明用としては(イ)ネオンサイン、(ロ)イルミネーション、(ハ)廣告燈、(ニ)屋外用投光器—交通用工事用を除く、(ホ)庭園燈、(ヘ)多燈式街路燈。第二に動力及電熱用としては(イ)電氣風呂、(ロ)庭園用モーターポンプ、(ハ)暖房用電熱器—新設のもの、(ニ)調理用電熱器—新設のもの、(ホ)家庭用電

氣冷蔵庫—之も新設のもの、(ヘ)三階以下のエレベーター—荷物用を除く、(ト)エスカレーター—之も荷物用を除く以上の如くであります。

臺灣に於きましては年々の需用増加に對し發電計畫を適當に擴張致して居りますから、此の電力調整令の發動により今直ちに嚴重なる消費制限又は禁止を行はねばならぬ程切迫は致しておりませぬが、只今申しました第一種又は第二種需要が吾々の豫想以上に急激に増加致す様な事態が生じますれば、本令に基いて一般の消費を切り詰めなければならぬのであります。

又需給關係が非常に不均衡となりますれば自家用發電施設者例へば製糖會社—に對して其の工場で使用する電氣の外に設備の許す限り發電を命じ、餘分に發生した電氣は他に供給せしめると云ふ非常擴充政策も本令により強行し得ることになつたのであります。

更に非常擴充第二の措置として、電氣會社や自家用電氣工作物施設者が持つてゐます處の電氣機械や

器具等を最も有効に活用し其の最大効率を發揮せしめて電力供給の圓滑を計り且つ資材の節約を企圖しますことは大切な事でありませぬから、發電機、變壓器の様な電氣機械、器具其他装置を一層有効に運轉せしめる爲に他の適當な者に貸貸し或は遊んでゐる機械、器具を他に譲渡する等の措置を取ることを命ずる様な事もあります。

以上述べました電氣會社相互間又は自家用電氣工作物施設者に對してなされる電氣供給命令により、又は電氣機械器具其他用品の貸借或は譲渡命令に因り生じます損害は、總動員法第二十七條の規定に基きまして通常生ずべき損失に限り國に於て之を補償致します。又以上の各種命令を實行致します爲に工事を伴ふ事があります。斯如場合には其の工事費用は供給者、受電者相互の間に於きまして公平に分擔せしめる必要がありませぬから此の場合には當事者の間に於て工事費用の分擔に付て協議する様命令し、其の協議が調はぬ時は

當局が之を裁定致しまして關係者相互間の利害の調整を計る様になつて居ます。尙消費者に對しましての消費制限禁止に依つて生じます所の損失は、其の制限禁止が一般的になされ、一般人が公平に犠牲を負擔するのでありますから、此の様な損失は戦時に於きましては當然受忍せらるべきであると云ふ趣旨に依りまして損失を補償しないことになつてゐます。

更に電力の消費を制限したり電力の供給を強制したりする場合、其の電気料金に就ても料金率其他に付て變更をなさねばならぬ様な必要が生じて参りますが、此の場合には事態の性質上當事者間に於て適正な料金其他供給條件を定めることが困難な場合には當局が其の決定をなす様になつてゐます。

尙電力調整令の施行規則に於きましては五百キロワット以上千キロワット未満の電力を新に受電し又は受電力を増加して消費をなさんとする場合は交通局總長の認可を受けなければならぬ様になつてゐます。又

千キロワット以上の電力を新に受電し若くは受電力を増加して消費をなさんとする場合は、臺灣總督の認可を受けなければならぬ様に規定されてゐますから此の機會に御注意を致して置きます。

尙又電力調整令には規定してありませぬが、本令の規定に基づく命令に違反したる者に對しましては、國家總動員法の規定により夫々處罰される事は勿論であります。

以上が電力調整令の概要であります。之を要するに本令は其の適當な運用によつて電力の需給を調整して國家總動員目的遂行のために必要な電力を確保しようとするものでありますから、今日只今の所では嚴重なる消費制限を皆様に要求しては居りませぬが、各位に於かれては時局と電力の重要性を認識せられまして聖戦の遂行に齟齬を來たさしめませぬ様、國家總動力に積極的に参加せらるゝ氣持を持たれまして、不急不要の電力の節約を工夫實行して頂く様に御願ひする次第であります。

## 七分搗米と混食勵行に就て

國民精神總動員本部

政府に於ては戦時に於ける國民食糧の確保を期する爲、食糧の増産を圖ると共に之が配給を圓滑ならしむる爲に統制し、國民生活の維持に萬遺憾なきを期してゐるのであります。我國現下の米穀事情は全國民一致協力して米の消費節約を斷行せねばならないことになつてゐるのであります。

この爲に内地に於ては既に米穀搗精等制限令が公布され十二月一日から白米を廢止し、七分搗米を常用してゐるのであります。臺灣、朝鮮、樺太、南洋群島に在つては十二月一日からとなつて居るので近く府令の公布を見ることとなつてゐるのであります。願するに政府は本年度當初から米穀の増産計畫を

立て、來たのであります。中國、北九州及朝鮮南部の廣汎に亘る旱害の爲に豫定より著しく減少したこと、滿洲、支那に對する米の輸出の増加等によつて米の國內消費量を少くせねばならなくなつたのであります。

この切迫した米の問題を解決するには國民全體が協力して消費節約の實踐者とならねばなりません。今回政府が戦時食糧充實運動を起してゐるのは國民の協力によつてこの米の問題を圓滑に解決せんが爲であります。

申す迄もなく我國に於て、白米食の常用は約二百五十年來の事であつて當時白米を常用した者には「江戸わづらひ」といふ病氣が出來た程であります。これは

白米には發育並に栄養に必要なビタミンが缺けてゐる爲であります。

又白米は栄養上大切な蛋白質、脂肪、無機質等を相當多量に糠として捨て、居ります。これ等の缺陷を補ふには七分搗米が最もよいのであります。七分搗米一日一人平均攝取量である三合三勺中に含有するビタミンBの量を他の食糧品中に求めますならば豆腐六丁半、牛乳一升一合、鶏卵十九箇、海苔五〇枚以上各品目に含まるゝ量と等しいのであります。七分搗米がいかに保健衛生上切實なものであるかを知ることが出来るのであります。

七分搗米を常用致しましても米を粗末にしては何等の効果がありませんから先づ第一に米を大切にすることを心がけて肝要であります。

今假りに一人が一日に一粒を粗末にしたとしても一日に一億粒となり、十七石七斗六升となり約五千三百八十二人の一日の食糧が無くなり一人が五粒宛粗末にすれば二萬六千九百餘人の一日の食糧を無駄にする譯

であります。

米の節約は七分搗米を常用する以外に麥類、豆類、薯類其の他地方に産する雜穀類を混用することが最も必要であります。特に麥は蛋白質、脂肪、カルシウム、磷酸等を多量に含むのみならず、ビタミンも多く、混用するには最もよい食糧であります。この他豆類、薯類等いづれも栄養價値の多いものであります。又麵類、蕎麥等を時々使用し米の節約を圖ることも心掛けて戴きたいのであります。

以上申し述べました通り七分搗米の使用と雜穀類の混用は米の節約の上からも又栄養上からも極めて必要なことでありますからこれが實行に關しては家庭の御婦人方の協力が何より大切であります。炊き方に注意をすること、副食物に考慮を拂ふ等細心の注意によつて一家團樂の中に戦時食糧對策が圓滑に遂行される、希望する次第であります。

## 前線便り

### 慰問袋

南支派遣軍

水谷辨正

南支へ上陸以來もう間もなく一年になる。我々の部隊は特殊な部隊で最も〇いのが〇〇〇十人の内九人迄は〇〇〇〇以上中には息子と親子が召集されて御奉公して居るのも二人程有る位だから〇〇部隊と云つてもよい、南支で有名な〇〇要塞の警備に當つた時は住民は殆んど避難して僅かに難民の老人子供が少し居る丈け、一切の交通は遮断して有るし

至る所敗殘兵が横行して居て物資は何もない、糧秣も僅か米に雑語が来る丈けだつた、一番困つたのは煙草と甘い物で一本の煙草を十人寄つて吸ふのは未だやさしい方だ、甘い物のないのも随分辛いもので支那の老人が大切に持つて居る黒砂糖を見つけて買つてなめたが其の頃は未だ軍票が支那人に判らないし僅か十匁の黒砂糖に軍票の價値の有る事を漢文で書いてやつたがどうしても飲み込めぬ様子を居るのを無理矢理に五十錢で買つてそれは、大切になめたものだ、漸く二箇月程たつて舟で四里程行くと小さい町が有つて煙草も砂糖も有る事を知つて買ひに行きたし危険では有るしと思つて居る時に、慰問袋の配給だとの聲が聞へ

て来た時は眞實とは思へなかつたが間もなく糧秣と一緒に慰問袋を本部から貰つて来た時ドット起きた歡聲、各分隊に適當に分配を命じ各分隊毎に適當に各人に分ける様にしたら、半数は警戒勤務について居るが残つて居る兵達はガランとした支那家屋の自分の班へ總がよりで運んでクジだ、いやジャンケンだと分配に大騒動して居る。大きいのがよい、いや小さい方が中味が上等だと九で子供にも劣らぬ有様が自分の部屋まで聞へて来る。

當番兵が大きなのを一箇持つて来て目直下士官が隊長には特別大きいのを上げる様にと之を買つて来ましたと机の上に置いた、兵隊は眞心に返へると云ふが本當だ、中味を見て

居るのだらう煙草！羊羹だ！人形さ  
んだ！

○十面の男がああ喜び様と、思はず微笑したが、フト机の上の慰問袋を見た時急に目頭が熱くなつて来て一雫落ちた、中味を机の上に並べて何日も何日も眺めて居たものだ、間もなく頼面の○兵が来て隊長殿此の風船を故郷の子供の所へ送りたいが送つてもよいですかと尋ねて来た、風船位内地にいくらも有るしワザワザ送るに及ばぬではないかと云ふと、ハイそれは判つて居りますが慰問袋を頂いた嬉しさがこんなに大きいのを思ふと子供に風船を送つてやたらどんなに喜ぶかと送りたくてたまりませんと言ふ。成る程今日迄物を贈られてこんなに嬉しさを深刻

に味つた事は始めてだ、すぐ思ひ出されるのは故郷の子供達の事だらう

では一つ位は手紙の中へ封じ込んで送つてもよいと許可をした、自分の机の上に可愛らしい人形さんが有る、二男二女の末子が尋二女でこんなを送つてやつたらどんなに喜ぶかと矢張自分も送つてやりたい心で一パイだつた、勿論十五瓦以内の封書以外は許可されぬし折角送つて戴いた方にも済まぬと思つても此の嬉しさを可愛い子供にも分けてやりた

と、どんな物が戦地の兵隊の慰問になるかと買ひ集められる時の苦心の跡がアリ／＼とハッキリ判る。銃後の國民がこんなにまでして下さる尊

い心。一身や一家を省る時ではない、この熱誠に如何にして答ふ可きか、こんな事を考へた時身中が熱くなつて来た。二三日は禮狀の檢閲に多忙で有つたがどの禮狀も禮狀も矢張兵の心は同じ感謝と發奮とで有つた。註 この○兵は幹部の一部以外は全部半年餘りで○○兵と交代し今頃は銃後で此の感謝の心を思ひ出してお國の爲、家業をばげんで居る事でせう。

## 更生廣東

南支派遣軍

石谷信保

更生廣東を語るには何が最も適しいだらうか。事變前百二十萬の人口が既に百萬になつたし、在留邦人の数は引き上げ前の六百人が今では八千を超えた。軍隊の数は固よりこの數の外だ。頭數の復興は今一息といふ所。

余漢謀は退却の際市中の目ぼしい所に火を放つた。名物の十三樓愛群旅館は破壊され、海珠橋も爆破したと香港の漢字紙は盛んに嘘報を書き立てたが今ではこの二名物も、四千人を納れるに足る中山記念堂も儼然たる存在である事は誰も知つてゐる

ばかりでなく廣東を訪れた人は先づ訪ねる名所となつた。「食は廣東」といはれるが自慢の四大酒家には典雅な姑娘のサーヴィスで歡呼の聲が上つてゐる。異つたのは蛇料理、犬料理、とグロテスクなものは御法度となつたこと、花姑娘も衛生的な考慮の下に再吟味されたこと、火災の跡もあらかた奇麗に掃除された。

廣東は事變戦禍の度に近代化するらしい。丁度百年前の阿片戦争で近代に入つたが、中華民國の誕生時の兵火も城壁のない三樓、四樓軒を並べる歐洲風の濃厚な近代都市を生んだ。今次の事變には思想的行動上の淨化作用が東海の君子固から運ばれて來つゝある、既にその一部は實現してゐる。このために各種の文化團

體も活潑に動いてゐる。水準以上の知識階級者に訴へるために華南文化協會が乗り出すし、新聞記者聯合會が八十名の會員を擁して正義の宣傳

報道の開拓者となつた。作家聯盟、婦女會、音楽家聯盟、畫家聯盟、教員聯合會、漫畫家聯盟まで新粧をこらし新しい建設的イデオロギーの下に活動してゐる。それが何れも中國人の手によつて働いてゐることは何よりの力強さだ。數の上より實質的に新東亞を建設するために乗り出してゐるのは頼母しい。精神的な方面を見れば忠靈塔建設費や廣東神社建設費に中國人のしかも婦人までも貧者の一燈式の献金があることによつても理解出来る。それは一人や二人ではない。一度や二



度ではない。各方面に互つてのさうした感謝運動がある。新聞廣告に邦人の徳を讃美した感謝文も出るし、警官の中から殉職者がぼつ／＼ある。夜を麻雀に更かして朝は十時過ぎに至るまで起床しなかつた廣東人も、近頃では七時に起き團體的なラヂオ体操がレコードに合はせて行れてゐる。苦力もよく働く。人力車に大金を忘れたり、靴を忘れたのがきちんと人力車組合の手に送られて持ち主の手に歸つたといふ記事等一週に一度位は必ず出る。炎熱は人をして物を忘れしめるが他人の所有を私しない傾向が下層社會に生れて來たのは嬉しい極みである。更生廣東は質的に精神的に進んでゐる。廣東人の氣質は日本人に酷似してゐるとい

はれる。それだけに期待も大ならざるを得ないわけである。

## 地方情報

### 電力飢饉の激化により

#### 鹽野義高雄工場繰上建設

〔高雄州臨時情報部〕 東京に本社を持つ株式會社鹽野義商店は豫て潮州郡クワルス社に規那園、同郡佳佐庄に熱帯藥植物試驗場を設け、南洋南支よりの藥種原料を以て化學藥品「キニーネ」「カカオ」「ヒマシ」「フアエン」「デリス」「デニタミン」等の製藥を企圖し、前記植物園の成長を待つて工場建設の豫定として既に高雄工場地帯に敷地六千五百坪を買収して居たが、最近内地の電力飢饉に配

電意の如くならず操業上一大支障を來すに至つたので、數年後に豫定されて居た高雄製藥工場建設時期を早めて最近高雄駐在同製藥部員をして即刻建設の下準備にかゝらしめ、既に原料關係努力、勞賃關係その他の基礎調査も終り具體準備に入つた模様だが、同工場は内地工場の缺を補ひ「デニタミン」「フアエン」その他化學藥品の製造を行ひ當初のキニーネ製藥計畫は潮州郡下の規那園成育を待つて開始されるものである。

### 高雄魚市水揚高

〔同部〕 高雄魚市の十月上旬水揚高は盛漁期を控えて躍進、四十五萬二千四百九十四疋、十六萬二千六百二十六疋六十六錢で前月上旬に比し數量に於て十九萬六千六百五疋、價

格七萬三千七百七十三圓四十錢の各増加となつてゐる。

### 高雄稅關管内貿易

〔同部〕 高雄稅關管内の九月中に於ける外國貿易は輸出に於て砂糖、鳳梨罐詰、米、冷凍魚、鱈鱈等の進出目覺しく百十七萬九千六百五十一圓にして、前年同期に比較して四十八萬八千九百八十四圓を増加、之が一月以降累計は二千八百四十二萬四千七百二十二圓と前年同期と比較すると實に一千六百一十一萬四千二百三十八圓の激増である。輸入に於ては之亦大豆粕、包廩、大豆、漢藥、硫安、豌豆等各重要品の入津相ついで二百三十七萬九千四百九十八圓に上り、之を前年同期に比較すれば八十九萬七十七圓を増加、更に之が一月

以降累計二千二百九十七萬五千六百三十一圓を前年同期に比較すると五百七十六萬百十圓を増加してゐる。差引五百四十二萬八千四百四十一圓の出超である。

### 高雄州防諜聯盟

#### 發會式舉行

〔同部〕 高雄州に於ては時局柄其の重要地位に鑑み防諜意識の昂揚に努めて居たが、市、郡に於て夫々區及警察官吏派出所單位に有志の發起に依る地域的防諜團と美容術營業者、自動車營業者等の業態別防諜團とが續々と自治的に結成され其の數二四八團に及び十月三十日東港郡防諜聯盟を最後に二市七郡防諜聯盟の結成を見るに至つたので之等市郡防諜聯盟の統轄共助を圖り國際政局の

### 臺灣咖啡株式會社創立

〔同部〕 屏東市本町二ノ八九測量業八木喜良氏を社長とする臺灣咖啡合資會社(資本金一四、八八〇圓)は屏東市に事務所を置き旗山郡六龜庄老濃に二十餘甲の咖啡園を經營し來たれるが、資金不足の爲め事業意の如くならざるを以て局面打開に苦心奔走し居たる處、臺北市在住茶輪出商中野十郎氏は、株式會社守山商會臺灣出張所長(咖啡商)内田政男氏等に渡りをつけ之等の參加を得、共に發起人となりて資本金十五萬圓(四分の一拂込み)の株式會社を設立



し新設會社に於て既設の臺灣珈琲合資會社を二萬圓にて買収し事業一切を繼承して現事業地の擴充並許可地の開拓及新に茶農園の經營等を爲すことになり會社設立準備中の處去る十二日屏東信託會社に於て創立總會を開催せり。

**高雄州に於ける金賣却に就いて**

〔同部〕一、金賣却成績  
當 初 第一次 三百萬圓  
第二次 五百萬圓  
第三次 一千萬圓  
既に以上目標突破せり  
現在 第四次 一千五百萬圓  
目下運動中  
現在高 一千一百六萬圓賣却  
(十月三十日現在)

二、將來に於ける獎勵方法

- (一) 目標  
中産階級以上を目標とし金賣却を奨励す。
- (二) 方法  
(1) 産業組合をして各部落に進出せしめ金の即時買上げの強行を期すること
- (2) 婦人金賣却奉公隊の組織をなし、潛行的に婦女の力に依りて自發的に賣却する運動を起す
- (3) 巡回活動寫眞の映寫に依り金賣却の必要を強調す

に日々五、六千圓程度の賣却高に過ぎず殊に從來の積極的獎勵方法に依り一般大衆の本運動に對する認識漸く徹底せるも賣却の時機を失し或は故意に隱匿する者等ありて今後に於ける之が誘出に就ては中産階級の各家庭に進出し特別の勸誘を必要とするものゝ如し。

三、金賣却功勞者表彰

十一月三日明治節の佳辰をトし州下に於ける功勞者として團體及個人を併せ十六名の表彰を行ひたり(知事の表彰狀の外に副賞として貯蓄債券五圓一人一通宛贈呈せり)其の結果各被表彰者は勿論一般民衆其の他市郡署關係當局者に對し尠からざる感動を與へ本運動勸奨上裨益する所大なるものありたり。

**紀元二千六百年奉祝記念造林の著手**

〔臺中州臨時情報部〕 輝く紀元二千六百年奉祝記念事業は三箇年計畫を以て實施する計畫にて本年度は豫算一萬五千圓を以て州下の縱貫道路及び指定道路約四百八十軒に對し樟、ユーカリ、木麻黃等約九十萬本を記念植樹する外官公衙、學校、公園、個人住宅地等に油桐、パルサ楮等の記念樹を植栽し、又街庄諸團體では基本財産林の造成を行ひ曠古の盛儀と今次奉祝の意義を永久に後世に傳へ且つ愛林思想を啓發し、林産資源の擴充に資せんとするもので既に屢次に互り、打合せ等を開催し、萬端の準備も整つたので愈々近く輝かしきスタートを切ることにな

つたが本作業は臺中州報國總動員實施要項により實施し、苗木は州より配布し苗木受領より植付後の諸管理及び保護は州下保甲民一體となり實施するもので州下を擧げて意義深き第一步を踏み出すことゝなつた。

**臺中州在郷軍人分會饌米奉獻**

〔同部〕 帝國在郷軍人會は皇紀二千六百年に際し奉祝の赤誠を披瀝する一端として檯原神宮に饌米を奉獻する爲各分會は七月上旬其の地の農事團體又は學校或は篤農家に交渉し十坪乃至二十坪の畝穀用を設置し爾來分會員奉仕の下に播種、田植、除草、刈取等を實施し十一月中旬迄に白米約一匁を謹製した。而して十二

月二日より分會全員の徒步行軍を以て中繼式に十二月四日迄に臺中州聯合分會に遷送した。其の遷送要領は

十二月二日 臺南州より遷送のものを二水に於て聯合分會之を收受し同地に於て員林分會に引繼ぐ。竹山分會は二水に於て、北斗分會は員林に於て、員林分會に引繼ぐ、新高分會、能高分會は南投に於て南投分會に、月眉分會、東勢分會は豐原に於て豐原分會に引繼ぐ。十二月三日 員林分會は縱貫道上花壇に於て彰化郡分會に彰化郡分會は彰化に於て彰化市分會に引繼ぐ、南投分會は南投、臺中道上萬斗六に於て臺中分會に臺中、豐原、大甲の各分會は臺中に於て聯合分

會に引續ぐ。

十二月四日 彰化市分會は從貨途上  
勝蹟に於て大屯分會に大屯分會は  
臺中に於て聯合分會に引續ぐ。

十二月五日 臺中州聯合分會は大屯  
に於て新竹州聯合分會に引續ぐ。

### 臺中州下の二期作良好

〔同部〕 臺中州下の本年二期作水  
稻は日下刈入收穫中であるが州農會  
主催の耕作會現地審査も大部分を終  
へた、それに依ると本期に於ける稻  
の發育狀況は氣象平年と大差なかり  
し爲草丈、分蘗共に前年に比し稍々  
劣るのみで一般に良好と見られてゐ  
る、而して本期は大甲、彰化、員林  
郡下に鐵甲龜及大屯郡南投部に浮塵  
子の發生を見更に十月上旬に新高、  
能高竹山三郡下に風害ありたるも收

獲豫想量は前年よりも多少増收を見  
るものとされ豫想の百三十一萬石に  
は達する模様である。

### 臺中州に於ける 總選舉成績

〔同部〕 臺中州に於ける市街庄議  
員選舉は文盲教育が徹底したのと地  
方民の自覺により豫想外の好成績  
を以て二十二日中に二市五十七街庄  
の選舉終結を告げたが當初州及郡當  
局は代書禁止の結果前回より投票率  
の低下を見るものと豫測し居たのに  
反し前回の州下投票總平均九六%七  
〇に比し今回は實に九六%七六とい  
ふ却つて〇・〇六の向上を示した。即  
ち有権者數七九、五一九人投票總數  
七六、九三九人棄權二、五八〇人でこ  
の内無効投票一、二二六票何れも前

回以上の好成績を示した。

### 國防婦人會記念式と 臺中分會總會

〔同部〕 十一月二十二日は大日本  
國防婦人會臺北地方本部創立二周年  
に相當するを以て同會の目的とする  
日本婦徳を益々涵養し且つ同會の趣  
旨を一層普及徹底せしむる爲め臺中  
州支部では二十四日記念式を舉行し  
後、吉中臺中高女校長の有益なる講  
演が行はれた。尙ほ臺中分會では二  
十三日午前九時新富小學校運動場に  
於て松岡愛婦支部長、並に副主席長  
安詮院同分會長、並副長等臨席し國  
婦會員一千百名出席のもとに總會を  
開催まつ皇居遙拜、默禱、國歌合唱  
の後渡部彌徳夫人宣言文朗讀次いで  
田中夫人分會長代理として挨拶を述

べ、花籠理事の十四年度行事報告並  
十三年度決算報告に續いて二瓶支部  
長代理として横澤中佐夫人の支部長  
訓示、松岡愛婦支部長の祝辭があつ  
て午後から運動會に移つたが市内各  
幼稚園及び三年以下の小公學校兒童  
等之に参加して興を添へ各種競技に  
銃後婦人の意氣を示し午後三時半盛  
會裡に散會した。

### 臺中州の輪裁式農耕法

〔同部〕 戦時下の緊急國策たる生  
産擴充を目標として合理的且つ集約  
的に増産目的を完遂せんとする臺中  
州の畫期的新農業政策たる輪裁式農  
耕法は去る八月實施以來州下各郡總  
動員のもとに先づ同法趣旨の徹底に  
努める可く狩野勸業課長、加藤技  
師、波越技師、三浦技師、山口、澤

根技手を始め各郡に於ても郡守、兩  
課長勸業主任以下係員總動員のもと  
に不休不眠の活動の結果、州下全地  
主、農民の完全なる時局認識を得る  
に至り既に十月末の彰化郡本月三日  
の大甲郡を筆頭に二市九郡を完済し  
大屯豊原の兩郡も一部認識不足の地  
主の存在によつて一時停頓の状態に  
置かれたが過般の州會に於ける松岡  
知事の時局重大性と斷乎たる當局の  
所信聲明によつて俄然好轉し之等頑  
迷地主の解消によつて兩郡下の成績  
も急速に進捗し十一日現在に於て

は九九%と云ふ好成績を示し、茲に  
州下二大産業たる米糖を根幹とする  
戦時下重要作物の計畫的増産政策た  
る臺中州輪裁式農耕法は何等強權の  
發動を見ることなく飽くまで州下地

主農民の時局的認識の喚起と國策へ  
の一致協力によつて愈々本格軌道に  
乗り一路生産擴充への目的に向つて  
募進することゝなつた。

### 防犯協會設定

〔同部〕 臺中州警務部では犯罪防  
止の觀念をより一層民衆に徹底せし  
め歩一步犯罪の遞減を自差してこれ  
まで機會ある毎に防犯宣傳に努めて  
來たが今回愈々他州に伍し防犯協會  
を設立すべく機構その他を立案中で  
近く成案次第發會式を舉行の豫定で  
あるが手始めに各市郡劇場映畫館等  
に於て防犯巡回映畫會を催すことゝ  
なつてゐる。又防犯思想の普及徹底  
を期すべく防犯標語及防犯俚語の募  
集を始めてゐる。

特別寄稿

## 世界の動亂と日本人の使命

菅原裕

凡そ物事は其表面に現はれたる現象に依り其内面に存する實體、本質を把握することが肝要であると思ふのであります。

現下世界的大動亂は關係各國の宣傳戰、外交戰等が武力戰と錯綜し容易に其本質を究めることは困難であります。靜かに之を観察致しますれば又必ずしも解き難き謎ではないのであります。

私は歐洲の動亂も支那の事變も悉く近世物質文明の行詰りより生ずる崩壊作用であり、更に之に入れ替らんとする精神文明との轉換の光景であると考へるのであります。

あります。

今回の歐洲動亂が前回の世界大戰の繼續であることは何人も認める處であります。前回の世界大戰は過去數世紀に亘り歐羅巴民族が世界各地の植民地を略奪し擄取することにより、其固有の個人主義、功利主義自由主義を満足せしめて築き上げたる燦爛たる物質文化が自壊作用を起し植民地の争覇を繞つて展開された大戦争であつたのであります。

而て其戦争たるや歴史家をして人類の鬪争より野獸の鬪争に墮落せしめたりと歎せしめたるが如く、凡そ

る慘虐なる手段を用ひ敵國人と云へば戦闘員たると非戦闘員たるとを問はず殺戮を敢へてしたのであります。其結末たるベルサイユ會議に於ても亦自國、自民族の爲に計るのみであつて他國、他民族の利益、幸福は少しも顧みる處がなかつたのであります。

此資本主義的自由主義の醜狀に飽き足らず遂に無産階級の獨裁に依て是を是とせんとしたのがソビエトロシアであります。併し乍ら共產主義其のものが人道に反し且つ其世界赤化の手段が極端なる破壊の一途にありましたが爲めに世界各國に對して非常なる害毒を流したのであります。

其最も大なる影響を受けたものが、さらぬだに乞食と泥棒に困り抜いて居たイタリーであつたのであります。殆んど亡國の危機に類したるとき、ムッソリーニ一派の「ファシスト」黨が奮起して國家を救つたのであります。續て獨逸にはヒットラーを統領とする「ナチス」が擡頭し打倒共產黨をモットゥとして若々國力の回復を圖つたのであります。

即ち戦前の歐羅巴は第一次世界大戰の結果資本主義的自由主義の反動として共產主義が起り其反動として全體主義が起り、此三つの思想が亘巴となつて相争つたのであります。而て此三つの思想は何れも物を中心とする思想でありまして、ドイツ自らが云つて居る様に持たざる國の水平運動に過ぎないのであります。其の状態は恰も子供等が菓子を取り合をする如く又は猛獸が檻の中で餌の奪ひ合をして居ると同じであります。

何等自ら求め給ふ事なく、親が子供に對するが如く如何にせば萬民が幸福になるかを常に御念遊ばさるゝ御皇室を戴く我皇道とは凡そ似ても似つかぬ思想であります。ポーランドを蠶食し盡くしたとき獨逸のヒットラーと云ふ虎がロシアの熊と相闘して英吉利の獅子や佛蘭西の豹に對しておい餌はもう食つて失つたぞ争の原因はないじやないか何を吼へるんだいと舌なめずりをし乍ら云つたあの光景はどう考へても動物園としか思はれないのであります。

其上彼等は其思想も乃至は國際條約も全く自國擁護の方便として主張し、締結するのでありまして、従て一朝自國に不利なる場合に逢着致しますと直に其主義を抛棄し、主張を歪め、其條約を弊履の如く捨て、顧みないのであります、思想を神聖視し條約を尊重する我々日本國民とは本質的に頭が違ふのであります。

ヒットラー選りは一時大分我皇道に憧がれ現代の日本を研究する丈では足らずとして奈良、京都方面迄研究生や調査員を派遣して大に日本の眞似をして居たのであります、結局眞の日本の實體たる皇道を識る事が出来ず、ポーランド問題に際しては遂に馬脚を現はし我國とロシアとを見替へたのであります、如何にヒットラーでも世界中に植民地を散在させる英吉利と戦ふのに日本の海軍力を借らずに勝味ありとは考へなかつたのであります、其處に淺ましき巧利主義、打算主義の本性を發揮して英佛の裏を掻き、ロシアが寢返へりを打ちさへすれば到底英佛は起ち得ない、又

日本は結局自分の後をついて來ると甘く考へてあの危ない惡當をやつた事であらうと思ふのであります。

平沼さんも複雑怪奇なんて子供がお化にでも驚いた様な臺詞を使はず、ヒットラー君若い、日本の眞似をするなら眞剣でやらねば駄目だよ、皇國と共產國と見替へて大博奕を打つなんてそんな手はあるもんじやない、日本に來て今四五年みつもり勉強して見てはどうかね、一本老練な處を見せて貰い度い處でした。

よく歐洲大戰はどうなるか、何時まで續くと思ふかとの質問を受けるのであります、前回の大戰で考へても彼等の戦ひ振りは決して速戦即決とは行かない、宣傳戦や外交戦の相の手を多分に混へてボツ／＼と不精無精に大會戦に移るのであります。

一體彼等の平和と云ふのは戦争と戦争との中間の休養時代を云ふのであります、丁度あの拳闘の仕合で一方がグロッキーになつて堪えられなくなると倒れる、審判が數を數へ始める、十迄ならぬ内に立上つ

て、休養し得た元氣で相手を打つ、今度は入れ替つて相手が休養すると云ふ場面をよく見るのであります、丁度あれであります、一方が倒れて次の戦への力の回復をはかつてるときが所謂平和であります、戦闘こそないのであります、眞の平和ではありません、歴史を見てもナポレオン戦争、普佛戦争、前回の大戰皆一定の間隔を持つて準備出來次第の戦が始められて居るのであります。

今度の戦争が何年かゝつても、どちらが勝つても負けた方は休養の出來次第又次の戦を戦ふのであります、私共は我日本が眞に皇道の立場から道義的に西洋人に戦争は休めよと號令をかける迄は歐洲の聖隣の争は休むことはないと思ふのであります。

全く彼等は子供の積木遊びの如く文化も、戦備も彼等の卓絶せる組織力を以て巧に積み上げるのであります、或程度に達すると自らが／＼と崩れて失ふ、崩れると又直に根氣より積み重ねる、こんな事を過去

數世紀に亘つて繰返して來たのが歐羅巴民族ではありますまいか、其組織力と根氣とには感心させられるのであります、其處に何等の道義が入らない、精神主義的なものがないので彼等自らの發明した機械で彼等自らの生命と文化とを滅ぼしつゝあるのが現状であります、ナポレオン戦争の直後哲學者フイヒテはドイツ國民に對し、「ドイツ滅亡の眞の原因はドイツ自身の利己心に外ならない」と戒めたのであります、更に前回の大戰後ゲイセリング教授も亦同様な事を云つて全ドイツ人を戒めて居ります。

「ドイツの瓦解は聯合國の優勢なる武力に由るものでもなく又恐るべき中傷宣傳に依るものでもない、ドイツ人自らが平生の善良なる自己に背き虚偽に走つたが爲めである、ドイツ人の過去は表面の世界と内在の世界とを混同し徒に外觀に趨つて實相を観ることを忘れた、ドイツ人は實に盲目的に物質化し、唯科學的經驗に基きて一切の事物を研究して能事畢れりとなし、

現象として顯はれ来る本體の性質に關する研究を閑却した、故に國民は信仰に遠ざかり、倫理を顧みず道徳弛緩して人々は只外面的生命に生き世は滔々として空名虚榮を重んじ華美なる物質的享樂に沈溺するに至つたのである。云々と教へて居るのであります。之れは過去の獨逸人許りでなく現在の獨逸人に對しても、將又物質主義の影響を多分に受けて居る我々日本人に對しても亦立派な教へと思ふのであります。

支那事變は支那民族の解放運動であります、支那民族が此頽廢したる西洋の物質文化の影響より抜け出し切らないので日本が手を取つて引揚げてやつてゐるのが其真相であります。

而て支那の解放とは指導する者が白人種であるから不都合であると云ふのではありません、白人種の抱懐する唯物思想が適當でなく、又其支那に於ける政策が悪いと云ふのであります、從て之れより離脱せしめ之を指導せんとするからには少くとも今迄以上に支那民

衆に幸福を與へなければならぬのであります、茲に大なる日本人の工夫が更に要求せらるゝのであります。斯くの如く私共は自ら支那事變を戦ふことにより、又歐洲の狀態を見ることに依り、物質主義が如何に人類を不幸に陥らしめたか、又之れを救ふの道は只皇道の發揮以外には何物もないと云ふことを知るのであります、而て皇道の發揮には我々 御上の御側に仕へ奉る日本臣民が先づ皇道に徹底し、日本魂を確立しなければならぬ事を深く感ずるのであります。

然るに事變以來我國人一部の態度を見るに、此日本人の大使命を自覺することなくして徒らに物質主義に吊り込まれて唯物的方策を以て之に當らんとする者や或は又目前の現象のみに拘泥して慌てふためて居る者、更に前回の歐洲大戰の時見た悪夢を再び繰返さんと希望して居る者の皆無でないことを遺憾とするのであります。

東亞の新秩序を建設するのである、世界の再建に邁

進するのであると稱し乍ら既に没落しつゝある物質主義の眞似をしたり西洋人や支那人に劣る様な精神、人格を以て之に當るならば事變の解決も容易でなく、假に表面解決致しても眞の解決とはならないのであります。

精神主義と物質主義との違ひは只人が物を使ふか物から人が使はれるかに依つて分れるのであります、金や物を身の爲め國の爲めに有意義に利用し自他の人格を向上せしめ得る人は精神主義者であります、反之金や物の爲めに身を過ち人を傷ける者は物質主義者となるのであります、經濟戰を戦ひ抜く爲めにも經濟上の新建設を完遂する爲めにも物質を巧に利用しなければなりません、物質を使ひこなす其根本に此精神主義の確立が先決問題となるのであります。

過去數世紀に亘る西洋民族の物質文化の向上は世界に偉大なる貢獻をなした事は間違ひないのであります、西洋人は此物質文化を使ひこなす丈の精神文化を

持ち得なかつたのであります、茲に西洋文明破綻の原因があるのであります。

物質は只人格を進め道義を行ふ爲めに之を利用すべきであつて斯くて始めて物質存在の意義が確立するのであります。

人間は精神と物質とから成立つて居ります、精神の神は神と云ふ字であります、我情我欲を押へ身を慎み心を清めて人格を向上し神に到達するか、意馬心猿肉に従ひ血に任せ一個の牛馬土塊と化するか、神となるか物となるか選擇の自由を有する處に人間の妙味が存するのであります。

故に我々が人格を向上し魂を確立する爲めには神の神格を奉戴しなければならぬのであります、而て神格に歸一し奉るの道は唯御國體を信奉し、現人神に一切を捧げて仕へ奉るの誠を固める修行こそ大切であります。

抑も我々日本人位有難い、尊ひ神話を戴いて居る者

はないのであります、時間的には 天壤無窮 場所的には六合照徹・八紘一宇、其使命とする處は漂へる國を修理固成すと、如斯盛大にして高遠なる大哲理は世界何れの國にもないのであります、而も此御神勅は現在其儘 上御一人に於かせられて具現し給ひ、下萬民に於て仰ぎ奉つて居るのであります。

一系の皇統は連綿として三千年を只一瞬の如く今日愈々益々御榮へあらせられて居るのであります、支那は四千年に二百有餘の易姓革命を致して居ります。秦の始皇帝が子々孫々に皇位を繼承せしめんと自ら始皇帝と稱しましたが二代にして亡びた事を思ふに付け我國が神國にして人智を超越せる此神勅が今尙脈々として生氣を放つて居られることを識るのであります。

六合照徹・八紘一宇の御精神にしても同一でありま

す、眞に世界萬民を慈しみ給ふ其御徳は若々として大八洲の國を中心として東洋に世界に輝き出でつゝあるのであります。

漂へる國の修理固成は日に新に日に進みつゝ而も一瞬も停止することなき有機的宇宙の姿であり、又日本民族奉仕の有様であります、日本の國土は働かなければ食へません併し働けば食へる土地であります、働かなくとも食へる南洋の土人や又働いても食へないシベリア奥地のロシア人の荒んだ思想を思ふとき、永遠に修理固成しつゝ生成發展し行く皇國の御姿の如何に尊きかを泌々と味はされて戴くのであります。

斯様に神勅は今に至るも嚴然と事實の上に存在し、愈々益々其光を放つて居られるのであります、之れに依て我國は現在神が生きて御働きの遊ばされる眞の御國であることを拜するのであります、此大御神に將現人神に仕へ奉ることを其使命とする者を神國人と申すのであります、我身の爲めに君を思ふのではありません、財産も生命も身體も名譽も一切を捧げ竭くし御奉公を致さずには居られないのが日本人の眞の姿であります、日本人は食ふ爲め生きる爲めに生れて來たので

ありません、此神國人としての大使命を達成せんが爲めに生を享けたものであります、從て其目的達成の爲めに命を繋ぐのであります、命を繋ぐ爲めに食物始め色々な物を利用するのであります、唯物主義と我皇道とは正反對を爲すのであります。

從て此神國に生れたることの幸福を泌々味ふと同時に神國不滅の大安心の下にじつとして居ては勿體ない、相濟まぬと進んで大君に仕へ奉らねばならぬのであります、彼のぐづぐづして居ると他國に比ばされるかも知れぬと云ふ不安に襲はれ乍ら勃め戦ふ國民と比較すれば其差雲泥であります。

故に我國に於ては如何に外觀が他國と同じ様に逼迫し危険に見へても決して恐るゝことなく迷ふことなく斷々乎として神の御稜威を輝かし奉るべきであります。正義を執つて一步も引かざる不退轉の勇氣と確固不拔の負けじ魂こそは凡る艱難を突破し神徳を輝かし奉るの道であります。明治維新の先覺者吉田松陰先生

は、亞墨奴が歐羅を約し來るとも備へのあらば何か恐れん備とは艦と艦との謂ならず吾敷島の大和魂」と歌つて居られます。

而て我國に取つては支那事變解決の結果も我等の目的であります、其解決へ進む過程、手段、方法も亦目的であるのであります、蓋し我々の一舉一動は凡て之れ神國人としての鍛錬であり、修行であり、奉仕であるからであります。

神國の有難味を知らない外國人がよく信仰を科學的に把握し様と苦心し間違つて解つた様な顔をしたり、解らずに神を否定したりする者がありますが、假説を基礎として打ち倒されて居る科學に依て信仰を促へんとすること自體が誤りであつて、直感乃至靈感を以て神を認め得る日本人は實に幸福であると思ふのであります。

日本人は頭腦に於ても體格に於ても凡ゆる點に於て外國人より優秀であります、其根本に於て此魂日本魂



が最も秀れて居るのであります。何も日本魂と云つても本質的に外國人の持つて居る魂と違ふのではなく、只日本人は此國を神の國と信じ已れの一切を捧げて現御神たる天皇陛下に仕へ奉らずには居られないと云ふ此信念が凝つて日本魂となるのであります。従て日本に國籍を有する者でも其心が英國に懐かれたり、ドイツに歸依したり、ロシアや支那を祖國と考へたりする人達は日本魂を持つて居ないのであります。反對に新に國籍を取得した人でも或は全然國籍は外國に在ても眞に日本の國體を識り 天皇陛下に仕へ奉らんとする信念に燃えて居る人は立派な日本魂を持つて居る人でありませぬ。即ち眞に日本人たらんと努力する者こそ眞の日本魂を持つて居る人でありませぬ。頼山陽の作と云はれる歌に「花より明るく吉野の春の曙見せば唐人も高麗人も大和心になりぬへし」と云ふのがありますが、之れ 天皇陛下の御徳を春の曙に譬へ奉り皇徳を拜すれば外國人も大和心が起らずには居ないと云ふ

ことを歌はれたのであります。氣の毒なドイツ人は其經濟と文化とを築き上げてくれた僅かなユダヤ人を國外に放逐しなければ「ナチス」政權の維持が出来なかつたのであります。我日本は古來幾多の大量歸化人を收容し完全に同化し盡くして而も其歸化人及其子孫の中より多くの至誠盡忠の士を出して居るのであります。神武天皇御東征に際し勳功隨一と云はれた可美眞命は當初長髓彦の軍中に居られたのであります。歸服して非常なる功績を樹てられたのであります。日本の武威を海外に輝かされました神功皇后は新羅より歸化した天日槍の外孫で在らせられたと歴史は傳へて居ります。又桓武天皇第一の功臣坂上田村麿の先祖は支那の歸化人阿知使主アチノノミであります。征夷大將軍として御盡し申上げた許りでなく、死するに當つて尙自分は死んでも皇居を御守護申上げるから横に寝かして葬つてはならぬ、立棺にして葬むれと遺言したと云

ふことであります。全く楠公の七生報國の信念と何等異なる處がないのであります。其他古來の偉人傑士の例も數多くあるのであります。

今回の事變に於ても支那人、蒙古人、ロシア人の血を享けた者で如何に勇敢に戦つたか現に戦ひつゝあるかは新聞雜誌の常に報道する處であります。本島人、半島人の方々が戦線に銃後に示して居られる忠勇義烈は私共の常に感激致し居る處であります。

大和魂は平時たると戦時たると戦線たると銃後たるとを問はず發揮されるのであります。殊に見事に發揮出来るのは命を捨て、御奉公をする戦場でありませぬ。日本の軍は皇軍と申して 大元帥陛下が御劍の御威光を輝かしてまつろはぬ者共をまつろはせ給ふ爲に進ませ給ふ御軍であります。彼の英雄豪傑達が野望を懐いて他國を侵略する爲に進める軍とは其本質に於て異なるのであります。

従て此皇軍に御供をする將兵は神兵或は天兵と云つて悉く身命を捧げて戦ひますから其勇敢は世界無比で

あります。今次事變に於ける陸海空軍の奮闘は明瞭に此事實を物語つて居るのであります。就中空中戦や山嶽戦や遼江隊の活躍は世界戦史に不滅の功績を残したのであります。

更に皇軍の特色は慈しみの軍であることとあります。明治天皇の御製にも  
國のためあなたなす仇はくたくともいつくしむべき事  
な忘れそ  
おのつから仇のころも靡くまで誠の道をふめや國  
民

いつくしみあまねかりせはもろこしの野にふす虎もなつかさめや  
定に畏れ入つたる事でありませぬ。

今此世界的大混亂の眞只中に在つて天業を翼賛し奉るべく日本魂を鍛錬せよとの御試練を戴いて居る現代日本人としては目前の現象に氣を取られて外許り見るべきでないでありまして只自分の魂を益々打ち固めて内へ内へと深く堀下げて行かなくてはなりません。



眞に立派な鍛錬が出来たとき事變も動亂も自ら解決して御稜威の世界光被が出来るのであります。

近頃時々、兎に角事變を早く解決しなくてはとか、兎に角手段の如何を問はず戦さには勝なくてはとか、兎に角食べなくては問題にならんと云ふことを聞くのであります。此兎に角と云ふ奴が神州の正氣を蹂躪して功利的に形式的に唯物的に物事を處理せんとする恐るべき敵であることを知らなければなりません、眼に見へる敵のスパイも用心しなければなりません、これ共更に警戒を要することは心の中深く飛込んで来る此迷であります、困難を厭ふ心、樂をし度い、易きに就き度いと願ふ心が物質主義の第一歩であります、艱難を樂しむ勇猛心、一切を捨てて天業に翼賛し奉らんとする日本心の大敵であります。

而て一世を指導しなければならぬ立場に在る所謂インテリの人達が弱音を吐いたり、新聞雑誌が獵奇的に墮したり風刺文學が流行したり、娯遊藝術が横行したりすることは御稜威長こむ我々日本人として深く警戒

しなければならぬと思ふのであります。

日本には須く日本の宗教、道徳が發達しなければならぬと思ふのであります。之と共に神勅の大哲理に基づく哲學、經世済民の眞の經濟學、奉行翼賛の政治學、非功利主義、非自由主義、非個人主義的な教育學が體系化され發達するべきものと信じます。戦後に來るべき否戦と共に來つゝある文化對策に關し皇軍の奮闘振に劣らぬ奉仕の體勢を整へることが銃後國民の責任であり急務であると思ふのであります。

要するに現下の時間は物質文明の崩壊より精神文明への轉換の姿であります、従て物質主義者より之を觀れば悲觀すべき末世の症狀であるかも知れませんが精神主義者より之を觀れば正に歡迎すべき躍進時代であります、よくよく日本魂を鍛錬して神國人に下された此神の大試練に答へ奉り、來年の意義深い二千六百年の御祭を國を擧げ否東洋を擧げ更に世界を擧げて御仕へ申上げ度いと思ふのであります。

—(筆者は前文部大臣秘書官)—

## 内外新聞論調

### △結局、獨・伊・ソ連帯性を強化

「本條約は獨逸を對象とすること明白で、土は其の傳統親獨政策を棄てたのだ。英佛の眞の目的はバルカン、地中海海峽、黒海に於ける平和の保障に非ず、機會を窺ひ戰爭を右地域に擴張せんとし、其の爲土を利用せんとするに在る。然し右地域に於ける平和の維持は獨逸に取リ軍事上及英國の經濟封鎖防禦の立場より絶對必要だ。而も本條約附屬議定書によつてもソ聯は右地域に於ける利益を維持するに足らず。結局、獨・伊・ソ三國

は右地域の平和維持に付完全に利害を一にするが故に本條約は結果に於て三國關係の連帯性を強化するものと云ふべし」と論じた。

### △バルカン工作に影響甚大

「伊太利 英佛土協定と伊國の關係に關し、チヨルナレ・デイタリア紙上ガイダは、本協定は本年五月既に成立したもので現にタイムズ紙も其の最初の目的は伊太利の進出を妨ぐるに在つたことを述べて居る如く、英佛の包圍政策に出來るものであること。本年五月には英佛は交戰國に非らずして本協定も云はゞ原則的のものに

過ぎなかつたが、今や同協定は其の性質を一變した事。

本協定はイズヴェスチヤ所論の通り平和の手段と認むる事が出來ず、平和維持に努力しつゝあるバルカンに對し新しい問題を提議するものである事。

の三點を指摘し、右三理由に基き伊太利として本協定に對し無關心なるを得ない。特に本協定のバルカンに對する影響は伊の最も重きを置く所である。伊太利はバルカンに於て死活的利益を有し、而も右は單に經濟的性質のものでない。アルバニアとの結合以來伊太利のバルカンに於ける地位と之に對する政策とは同地域の心臓部にも及ぶものだ」と述べた。

### △伊太利とバルカン

(ゾルナレ・デイタリア)

伊太利政府機關紙ゾルナレ・デイタリア紙は十月二十五日ガイダ主筆執筆の「伊太利とバルカン」と題する社説を掲載、英佛土條約と伊太利の關係に關して各國の新聞が行つた批判に對する再批判

を發表、同條約がバルカンに於ける伊太利の利益を脅かすものなる事を力説した。その要旨は左の通りである。

「英・佛・土條約成立以來五日間吾等は同條約の復讐性に鑑み慎重に同條約から生ずる各種の事態の進展を注視して来た。二十四日のロンドン・タイムスはイスタンブールからの情報として元來此の條約は伊太利のバルカンに於ける勢力進展を阻止するを目的として締結されたものだとして居るが、吾等はこれを聞き捨てにする事は出来ない。大體この條約そのものが土耳其が領土的に地中海に有する現状を實質的に破り、土耳其の國家主義を復活するを目的として調印されたものである。

過般英佛の獨伊包圍政策參加の調和として土耳其が受取つたサンチャックの割讓の如き領土的失地回復の目的も今回の條約締結の目的に含まれてゐると云ふ事が出来る、又ソ聯政府機關紙イズヴェスチヤ紙は新條約を目して地中海に於ける勢力關係に新分野を創造するものである

△戦争の眞因はウエ條約と波蘭の挑戦

るとなし、此の條約は少くとも平和の爲の手段ではない事を指摘してゐるが、我等も之と同感である。同紙が土耳其の政策は近き將來に於て必ず猛烈な反動を惹起するであらうが、その凡ては土耳其自身が責任を負はねばなるまいと指摘して来た點を見逃してはならぬ。スペインのアルバ紙は本條約を目して地中海の現状を破壊する第一歩が踏み出されたものであつて、地中海に於ける政治的勢力の均衡の破壊を脅威するものだとして居るが、之亦適切な判断である。土耳其はバルカンに若干の關係ある事は事實だが、伊太利はアルバニア併合以來單に經濟的のみならず極めて重大な利害關係をバルカンに持つのは當然である。アルバニア國境オクリダの湖水からバルカンの心臓部にかけて伊太利の利害が最も重大であり、伊太利の政策も此の方面に最大の關心を注いで居る事を茲に特記する。

△ソ聯の行動に警戒せよ

北伊タレモナ市發行のファシスト黨機關レシメーファシスタ紙は最近に於けるソ聯の東歐に對する進出が全體主義國家にとつて警戒すべきことを主張して注目を惹いた。要旨は左の通りである。「英佛はソ聯の歐洲に於ける活潑なる行

動にも拘らずソ聯に對し何等の抗議も行つて居ないが、之は英佛がソ聯との関係を戻す時機が必ず来る事を信じての事であらう、そして其の時はソ聯が獨逸に對し最も大きな敵國となつて居るのだらう。事實我々はスターリン書記長が何日の日か逆轉して全體主義國家を敵とする日があるであらうことを恐れるものである。

我々はソ聯國內の重要機關がユダヤ人の手中に在ることを知るべきであり、ソ聯が國際狀勢をたくみに利用してボルシエヴィズムの勝利を到る處で獲得しつゝある事を忘れてはならぬ。

△中立國に與ふ

(ジョルナル・デイタリヤ)

「中立國に與ふ」と題する伊太利政府の半官的コミュニケを發表したジョルナル・デイタリヤ紙は、中立國が嚴正中立を守ると共に言論及行動に依り時局を刺戟する一切の行爲を慎む事を要求、殊に米國が最近不必要な煽情的言論に依り事態を悪化せしめつゝある事を指摘し、

之は絶對に中止すべきであると左の如く米國に警告を發した。

「我等は本日全中立國に對して火急の警告を發するものである。火に油を注ぐ勿れ。未だ燃發せぬ紛争を爆發的に追込む勿れ。戦争が擴大すれば中立國自身の權益が直に危険に曝される事を怖れよ。政黨や言論機關の放縱且不注意なる挑發は極めて危険であり、その國を自ら戦争に投ずる結果を招來するであらう。言論と行動で嚴正中立を責任ある態度を以て守る必要あるは歐洲の若干の國家であり、又最も反省すべきは米國である。此の警告は夫等の國に主として與へられたものである。」

△ナチ政權存続中

和平工作は徒勞

佛蘭西 タン社説精論

「獨の英佛離間策は全く徒勞である。蓋し、佛國民は英國民と同じく何の爲に戦ふかを充分に理解して居り、次の侵略の前の中休に過ぎぬが如き危険な平和を欲

しては居ない。ヒットラーは英に對し容赦なく戦争を行ふと同時に早く平和を結ばんが爲の工作を之と平行して續ける以外に術なきに到つた模様だが、獨逸に現政權が存続する限り斯る平和工作は成功の望はあり得ない。」

△支那駐屯軍撤兵の急務

米國 シカゴ・トリビュン社説は今次の天津に於ける日米紛争を以て「其の責任は何れの側にも存せず、寧ろ環境の然らしめたもので、斯る事件は現在の如き狀況の繼續する限り再發するおそれあり、其の根本的解決は歴史的遺物たる支那駐屯軍の撤兵に在り、吾人は古領地域に於て治安維持に任じつゝある日本に財産保護の能力あるものと認める。米國の在支權益保護の見地よりすれば斯る小數の兵力を駐屯せしむる事は害あつて益なく、むしろ外交機關に依る方が、無用の磨擦をさけ得られ、米國政府が日本との國交の悪化をのぞむならいざ知らず、然らざる限り速に之を撤退すべし」

と論じた。

#### △日本品輸入業者の不安

ニューヨーク・シヤールナル・オブ・コマース紙は日米條約廢棄に基く通商上の不安に關し、社説を掲げ、條約失效前僅に三箇月を要す今日國務省は日本品輸入業者の不安を除く爲何等かの措置を講ずるの要ある旨を論じた。

#### △伊のバルカン同盟提

##### 起説に警戒

「近來傳へられる伊のバルカン同盟提議は其の真意の伏在する所明ならず今少し成行を見なければ批評の限りでないが、一、二箇月以來迄バルカンより黒海に至る地域を其の生命園だと呼稱した伊の意氣は吾人の今尙忘れ得

ざる處である。九月以後に於ける伊の態度が穏和協調的なのはバルカン隣邦の信頼を博するに至るに相違ないが、バルカン諸國の均しく願ふ所は侵略を受けず又國家の獨立と自由を守護する事に在る。然るに伊の態度には尙明瞭を缺くもの渺しとしない、第一に現職に對する伊の立場如何が問題だ、盛に自主的勝利を云々して居るが、世界は未だ之に信を措いて居ない。あれ程迄に宣傳せられた伯林ローマ輻輳は何等の聲明もなしに一朝にして消滅した事もその信を増す所以ではない、デートリッヒの所説が今日迄特に否認もされぬ所に依れば或は今後獨の希望次第に依つては獨側に參戦せぬと誰が保障し得よう、斯る状態の下に於てバルカンに呼かけても成功は困難だ。」

#### 二、レビエブリック

「伊新聞は三國條約に依り土は英佛と結んでバルカン協商より離反したと爲し、バルカンは伊の庇護の下に新なるブロックを構成すべしと爲してゐる

三二

が、右は伊の侵略的意圖の有無に依つて賛否を異にするだらう。若し伊に斯る意圖があるとすればバルカン諸邦を自己の覇權の下に置かんとする考へは根本より誤つて居る。

蓋しバルカンには一國も其の獨立を失ふて迄伊の保護を受けんとする者は絶対に存しない。

バルカンに對し其の經濟的政治的利害關係あるは何人も之を認める。然し伊は他の一強國がバルカンを狙ふとなし之を防がん爲にブロックを云々しても要するに自己の利益擁護を目的とするしか見られない。但し伊に何等侵略的意圖なく他強國の侵略を防ぐ爲誠心誠意バルカン諸邦と協調せんとすれば其處に自ら道は開かれるし、吾人も喜んで之に應じよう。要するに裏面に伏在する真意明らかとなる迄靜に伊の動向を見守る外はない。」

#### △國防完成は絶対必要

比島 セイヤールは新聞記者との定例會見に於て比島中立保障に關し、タイ

ヂングス・マクダワイー獨立法は比島中立保障に關する一切の權限を米國大統領に賦與するを以て同大統領は獨目的裁量に依り適當と認むる時期に必要な措置を講ずる事を得べしと答へ、深入りする事をさせた趣だが、同日附ヘラルドは社説に於て、

「近時國際條約は神聖性を失つたと雖ポランドの例に見るも強國の侵略的牽制に資する所あり、米國が比島中立保障を得んが爲には勢ひ英佛蘭日支の保障を得なければならぬが、是は比島史でなく在極東英佛蘭各國領土をも均しく利する所以だ。最近の例に徴するも自衛の意志あるものゝみが克く他國の協力を得る所得んが爲には先づ自力を以て其の獨立保全の實を示さなければならぬ。此の點よりして大統領が中立國保障の外自力國防の完成を決定したのは蓋し最も時宜に適當の措置と云へよう云々」と論じた。

#### ▲南寧攻略に就て

欽州灣に無血上陸を敢行した我が軍は、天險惡路を物ともせず破竹の勢を以て廣西省内に進撃し廿四日敵が最大の據點と恃む南寧を完全に占領した。我が海上封鎖の眼を完すめて欽州、北海の兩港より敵の物資は一旦南寧に集結した上、桂林を経て重慶に送られるのである。しかもその數量に至つては此のルートによるもの、現在重慶側があらゆる通路を介して海外より供給を受けつゝある總額の四分の三を占めて居るのである。これを以て見ても南寧止の打撃が如何に大なるかを知るべきである。六中全会に於ける共產黨問責案の通過は一步手前に防ぎ止め得たと云ふも、國民黨右派を始め前線將領間に於ける反共の氣勢は愈々熾烈を極め、蔣介石の統制力の弛緩は必然的に抗戦力を低下せしめて居るのである。しかも今や最大輸血路すら失ふに至つた重慶政府は將に風前の燈とも云ふべく、これを思ふにつけても我等國民は只前線將士の勇戦奮闘に對して感謝感激せざるを得ない。

#### △南寧占領の意義

大朝 北海占領と共に、皇軍の南寧攻略作戦はその必然的戰果確保の發展を意味するものである。南寧に於ける殘された援將通路として、北海は有力なる役割を演じて来たのであるが、皇軍の斷呼たる決意に基く同港攻伐の敵前上陸となり神速果敢なる援將據點の占領となつたのである。皇軍は北海の占領を第一着手に更に欽州防城方面より進んで廣西派の本據であり同時に北海或は印度支那方面から重慶への最も有力なる援將の要衝となつた南寧に鐵錐を下すこととなつた。鬱江を敵前渡河し、南寧を目ざして猛進を強行した、皇軍は敵の反撃を撃退し、激烈なる戰鬥を展開し、空軍の目ざましき活躍と相俟つて刻々包圍圈を縮小し早くも二十四日南寧攻略に成功したのである。南寧攻略の影響が壊滅に喘ぎつゝある將政權に止めの痛撃を與ふる事は、蔣介石自ら焦慮に堪へずして直接指揮の爲、重慶より前線方面に飛出して来たとの説も傳へられる位で、更に自己の

三三

地盤とたので居た李宗仁、白崇禧らの  
廣西派に取つては一層直接的である。そ  
の痛手は深刻なものがあらう。

今回の北海南寧を一氣に攻略した我南  
支作戦の成功は、これ迄絶えず妨げられ  
てゐた廣東自體の治安を保持する上に畫  
期的な効果をあげたのみでなく、蔣政權  
の今日なほ依存する援將ルートと、その  
經由する最大要衝を奪取することとなつ  
たのである。西南の援將ルートは尙印度  
支那經由の滇越鐵道によるもの及びビル  
マより雲南を經るものがあるが、滇越鐵

道の輸送力もたいしたものではなく、又ビ  
ルマより雲南を經てなざるゝ輸送も極め  
て困難である。

その爲印度支那方面からも、北海方面  
を經由したものが多く、これは何れも南  
寧公路を利用してなされたのである。歐  
洲戰爭の爲に、英佛から成された西南を  
通じての對蔣援助は事實上激減の已むな  
きに至り、殊に佛國側の印度支那よりの  
援助は停止さるゝこととなつた。香港を  
の他英國側よりする援助が主として北海  
より南寧を經由して重慶への他に送られ

たのである。

ソ聯からの援助は蔣政權に取つて、英  
佛のそれ程頼みにはならぬものである。  
英佛の援助が歐洲戰爭の結果從來同様期  
待できなくなつた事は蔣政權にとつて絶  
大の打撃である。皇軍の南寧攻略は西南  
に於て尙餘されて居た援將據點に對して  
加へられた殆ど最後の制壓であつて彼  
らの被る打撃は正に言語に絶するものが  
あるであらう。

昭和十四年十一月廿九日印刷  
昭和十四年十二月一日發行 (月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地  
印刷人 加藤 豊吉  
臺北市京町一丁目四十三番地  
印刷所 小塚本店印刷工場

「週報」現地「前線から銃後へ」

特輯號 十二月十三日發行 第四百六十五號  
▽一部 五錢 四十八頁の豫定

- 内容—
- ◎前線より銃後へ 現地司令官
  - ◎支那派遣軍總司令部其の他特別記事
  - ◎將兵の戰場體驗談、隨筆
  - ◎將兵の眼に映じた現地報告
  - ◎陣中文藝詩、短歌、俳句、川柳其の他
  - ◎繪 寫 眞

これらは總て現地の將兵の生々しい作品  
で現地の息ぶきを傳へて餘りあり、我々に  
感激切に又興味深いものがある。

昭和十五年度  
「職員手帳」

四拾錢

▼本年度も多數申込みを受けました  
が、まだ申込みになられぬ方は年内  
に至急お申込み下さい。

「週報」發刊三周年記念號

十月十一日號  
一部 拾錢

特 物價停止は如何に行はれるか  
支那 事變 戰況  
大戦から大戦の歐洲  
附録 歐洲時局要圖

取纏めの上至急  
御申込み下さい

内閣印刷局  
臺灣官報販賣所  
臺北市樺山町一八番地  
電話六、一三六番  
振替號五七五八番



支那事変

# 貯蓄債券

賣出 十二月十一日 至 十二月二十日

一枚 十円  
五十円

一券割増金

千五百円  
七百五十円



大藏省  
日本勧業銀行

— 本書の大きさは規定規格 A5 判 —

郵報

昭和十二年九月二十日第三種郵便物認可  
昭和十四年

毎月一日、十一日、廿一日發行 第八十一號